

## がれきから自然発火?? - 西日本防災システム

2013 01 18

1月18日午前4時35分頃、南相馬市鹿島区烏崎字牛島で東日本大震災のがれきを集めた仮置き場から出火し、がれき約200平方メートルを焼いたようです。けが人などはありませんでした。南相馬消防署鹿島分署は積み重ねたがれきの内部から出火したとみて、原因を詳しく調べています。がれきの仮置き場で火災が発生したのは県内で初めてだそうです。

南相馬署と南相馬消防署鹿島分署によると、同市鹿島区烏崎の自宅に一時帰宅していた男性が火災に気づき、119番通報したそうです。袋に詰めた被災家屋の建築廃材など約40トンのうち約20トンを焼き、発見から約4時間後の午前8時25分ごろ鎮火しました。がれきの中にあつた水で発熱する物質や電気製品などから自然発火した可能性があるそうです。

市内の仮置き場では消防団や市などが定期的に周辺を巡回し、火災の発生を警戒していたそうです。市は火災を受け、搬入業者に発火の恐れのあるがれきを運び入れないことを指示したほか、がれきの山の内部温度の計測回数を増やし、管理を委託している業者に防火対策の報告を求める方針だそうです。

市内の旧警戒区域外では7カ所の仮置き場に計**112万4963トン**のがれきが保管されているそうです。このうち、火災が発生した牛島パークゴルフ場の仮置き場には22万7331トンのがれきがありました。

県一般廃棄物課によると、がれきの山からの発火を防ぐためには、人為的に山を崩して熱を逃がすなどの細心の温度管理が必要だといえます。県担当者は「外気が低い冬場という条件が油断につながったのかもしれない」と管理面での不備の可能性を指摘しています。

火災発生を受け県は、がれきを管理する市町村や一部事務組合に対し、温度管理の徹底や監視回数の増加などを求めていくようです。

被災した上に、がれきから出火するなんて・・・ どうか気をつけてください。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

